

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	花のふれあいスポット推進事業		
事業担当	土木部 土木補修課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 自治会等各種団体、個人 】		
目的・目標		事業の概要	
地域住民の理解と協力により、道路残地などを活用した緑化を推進し、併せて道路環境に対する意識の高揚を図り、市民が緑豊かな空間の中で暮らしています。		道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間を形成するため、市民が道路残地などに植栽する草花を提供します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	草花等提供量				単位	本
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	1000	1050	2500	3600		
	実績	1720	2475	3598			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	市民による緑化協力箇所数				単位	か所
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	4	5	6	7		
	実績	4	6	7			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
室町商店会、八幡地区町内福祉村運営協議会、平塚農業高校、相模小学校、西海岸商店街、日向岡地域ボランティアのほかに、高浜台自治会にも苗木等を提供し、道路沿いの緑化を図りました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民との協働による道路沿いの緑化であり、道路愛護意識の向上が図られる上で必要な事業です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上や、市民満足度が増すなどの有効性がある事業です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民との協働による道路沿いの緑化により、道路愛護意識の向上が図られる、妥当性のある事業です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>■ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民との協働により、維持管理費の削減など、効率化も図られる事業です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
今後に向けた課題の分析		<p>潤いのある道路空間の形成や道路愛護意識の向上を図るため、自治会等による比較的大きな組織から、友達同士のような小さな組織も広く参加・活動できるよう、道路の維持管理を通して、地域住民の理解と協力を得る必要があります。</p>		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		苗木の配布、除草など	草花等の提供	草花等の提供	草花等の提供
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	155	170	239	350
事業費 (A)		155	170	239	350
執行率 (%)		77.50	100.00	99.58	
内訳	職員 (人)	0.50	0.30	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		4,178	2,478	3,242	3,206
フルコスト (A+B)		4,333	2,648	3,481	3,556

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	潤いのある道路空間の形成と道路愛護意識の向上を図るため、団体等へ草花を提供します。
課長コメント	地域住民の理解と協力により、道路愛護意識の向上と潤いのある道路空間の形成のため、今後も継続して実施していく必要があります。